

米 国	169,000	フランス	5,000
カナダ	50,000	ベルギー	2,964
オーストラリア	15,000	ニュージーランド	2,287
英 国	10,000	スウェーデン	1,987
西 独	6,300	スイス	1,323



カナダに着いた難民の一家。(写真 Sentinelle)

官民で難民5万人を受け入れ

カナダ、救済基金も創設

カナダ政府は深刻なインドシナ難民問題に対処するため、六月に今年の受け入れ枠を五千人から八千人（民間の分を含めると一万二千人）に拡大したのに続いて、七月には来年末までに政府と民間で五万人を受け入れると発表した。民間では、これに呼応して、赤十字が難民救援のために目標五十万ドルの募金を開始し、オンタリオ州のデービス首相が赤十字の募金額と同額の金を寄付すると約束したほか、ケベック州、モントリオール市、オタワ市、バンクーバー市や教会などの民間機

関が難民の受け入れを表明している。カナダ赤十字ではすでに五十万ドル、開発と平和のためのカナダ・カトリック教団も二万五千ドルを難民救済に拠出している。カナダ政府が昨年末に発表した難民再定住化計画によると、今年の世界中からの受け入れ枠は一万人で、そのうち五千人が東南アジアからの難民に割り当てられていた。また二千人は緊急の場合に備えて別枠にとってあった。

ところが難民問題が今年に入って悪化したため、政府はこの二千人をインドシナ難民に振り向け、さらに一千人を追加して、政府の受け入れ分を八千人に増やした。教会など民間が収容する二千人（予想）すでにカナダに定住しているベトナム人が難民キャンプから呼び寄せる家族千人（同）、ベトナムから呼び寄せる家族千人（同）を合わせると、一万二千人になる。七月の発表によると、これまでの月平均千人が八月より平均三千人に増やされ、来年末までに五万人を受け入れることになった。民間の受け入れ一人につき、政府が一人を受け入れる、という。カナダは、一九七五年から昨年末までに九千九人のインドシナ難民を収容しているの、来年末までの受け入れ総数はおよそ六万人となる。

毎月三千人をカナダに輸送するための飛行機は、今年末の分まですでに手配済み。来年の分についても、準備を進めている。また東南アジアには、カナダへ向かう難民の事務手続きをするためのスタッフを配しているほか、カナダへ到着した難

難民の中にはこういう幼児もいる。抱いているのはカナダ軍将校。(写真 Sentinelle)



民を迎えるための仮収容センターをエドモントンとモントリオールに設置している。難民は、一時収容所で二日ないし七日間滞在したあと、カナダ各地の定住地へ送られるわけである。

いろいろな宗教団体や市民団体でも多数の難民受け入れを表明しているが、民間の受け入れ計画（スポンサーシップ・プログラム）には直接参加できないものの、救援に関心のある人々のために、連邦政府はカナダ難民基金を創設することになっている。国民一般からこの基金に寄付を募り、難民の輸送とカナダでの再出発のための資金にあてるといふ。

カナダ政府は、また、国連難民高等弁務官事務所の役割を強く支持し、昨年末、その年間分拠金を二倍に増やしたほか、今年の四月には特にインドシナ難民の移住援助金として七十万ドル追加した。七月にジュネーブで開かれた難民会議では、マクドナルド外相がさらに五十万ドルの上乗せを発表している。

マクドナルド外相は、この会議の席上、「わが国は、これほど多くの人々が彼ら自身の政府の措置によって受けた苦難を緩



カナダでくつろぐ難民の家族。(写真 The Citizen)

和するため、最善の努力をするつもりだし、またそうしたいと思っている。他の国々も国民の慈悲により同じような努力をしていただきたい」と語っている。

同外相は、同時に、難民の大量流出の原因になっている国々を難民問題の元凶と決めつけ、「この非道で残酷な人権侵害」をやめるよう次のように訴えた。「これらの政府には、その市民の出国が安全かつ秩序ある方法で、またいかなる種類の脅しや罰なしに行なわれるようにする最大の責任がある。国際社会は、いかなる民族グループをもしくはいかなる社会的経済的グループをも追放または排除しようという試みを、人権の不当な侵害として拒絶する。難民の流出国がこうした人道的かつ正当な要求に応じてはじめて、問題の解決は可能となる。」